

## 4月定例記者会見の概要

1 日時 令和6年4月2日（火）10時00分～11時00分

2 場所 本庁舎3階 第一会議室

3 出席者 <報道機関>

- ① 河北新報社 南相馬支局（南相馬記者クラブ会員）
- ② 毎日新聞社 南相馬通信部（南相馬記者クラブ会員）
- ③ 朝日新聞社 南相馬支局（南相馬記者クラブ会員）
- ④ 読売新聞社 南相馬通信部（南相馬記者クラブ会員）
- ⑤ 福島民友新聞社 相双支社（南相馬記者クラブ会員）
- ⑥ 福島民報社 南相馬支社（南相馬記者クラブ会員）
- ⑦ NHK 南相馬報道室（南相馬記者クラブ会員）

計 7 社

< 市側 >

・市長・総務部長

(テレビ会議)

- ・新田副市長・常木副市長・小高区役所長・鹿島区役所長
- ・復興企画部長・市民生活部長・健康福祉部長
- ・こども未来部長・商工観光部長・商工観光部企業立地担当理事
- ・農林水産部長・建設部長・教育委員会事務局長

計 15 人

(司会進行) 秘書課長

(会議記録) 秘書課広報広聴係

### 【市政報告】

4月を迎え、市役所も新たな体制・顔ぶれとなり、令和6年度の業務を開始いたしました。

組織機構の見直しとしては、組織課題の分析や改善、職員の適性や意欲の把握など、組織・人材マネジメントを推進するため、総務課に「組織人材開発室」を新設しました。また、福島イノベーションコースト構想の重点分野のひとつである「航空宇宙」の産業振興を推進するため、商工労政課に「宇宙関連産業推進室」を新設し、担当課長職を配置しました。

加えて、係長職の人事配置としては今後、力を入れて取り組みたいと考えている財産利活用、認知症支援、保健事業、国際バカロレア研究などに担当係長を配置しました。

令和6年も引き続き、市民と共に、市政運営に取り組んでまいりたいと考えております。皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

次に、前回2月20日の記者会見から最近までの出来事についてご報告いたします。

はじめに、企業との連携協定締結についてです。

2月27日に株式会社ROMS、3月18日にLAND INSIGH株式会社、3月28日に株式会社菊池製作所と将来宇宙輸送システム株式会社と、それぞれ連携協定を締結しました。特に、LAND INSIGHT株式会社との連携協定は、衛星データを活用した農林水産業における新たな業務モデルの構築が期待されています。

次に、東日本大震災追悼式についてです。

3月11日に、東日本大震災追悼式をゆめはっとで執り行いました。ご遺族など157名の皆様にご参列いただき、犠牲となられた方々に対し、哀悼の誠を捧げてまいりました。

次に、八沢小学校の閉校についてです。

鹿島区の八沢小学校で3月18日、卒業式、並びに校旗返納式と記念プレートの除幕式が行われました。

閉校に先立ち、3月2日には閉校記念式典が開催され、児童らが調べた地域の自然や歴史、そして地域への思いを織り込んだ創作劇なども披露されました。

また、5年生が閉校への思いや、閉校後の学校利用について考えて制作した映像作品が上映されました。こちらの動画は、パナソニック主催 小・中・高校生の映像作品コンテスト「キッド・ウィットネス・ニュース日本コンテスト2023」の小学生部門で、パナソニック賞とベストメモリー賞を受賞することができました。

4月8日からは鹿島小学校と統合し、新たな鹿島小学校としてスタートする予定です。

次に、市議会定例会についてです。

3月26日に第1回南相馬市議会定例会が閉会しました。

この議会では、令和6年度当初予算など議案53件について、全て原案どおり可決・同意されました。

次に、書かない窓口サービスについてです。

3月27日から、「書かない」「待たない」「回らない」窓口のサービスを開始しました。デジタル庁が推進する自治体窓口DXサービスの活用事例としては県内初、東北では2例目です。

窓口で本人確認書類を提出し、職員の質問に答えるだけで全ての申請書が作成されるため、つど申請書に記入いただいたり、いくつも窓口を回ったりする手間が軽減されます。

来庁者の負担が大幅に軽減されるとともに、職員の手入力の手間等がなくなることから、職員の業務負担の軽減にもつながります。

窓口サービスの効率化で生み出した時間をさらなる住民サービスの向上につなげてまいります。

次に、中央図書館の来館者数についてです。

市立中央図書館が、3月30日に来館者300万人を達成しました。平成21年12月の開館から、14年3カ月での達成です。

300万人目となった原町区在住の木幡美葵さんには、認定証と記念品を贈呈させていただきました。

今後も、利用される方々の暮らしや仕事に役立つ図書資料の充実と、誰でも利用しやすく、くつろげる雰囲気づくりなどに取り組みながら、多くの方々に愛され、足を運んでいただける図書館を目指してまいります。

次に、南相馬市民プールについてです。

新たな屋内型温水プールとして、南相馬市民プールが4月1日に、原町区桜井町にオープンしました。

オープンに先立ち、3月30日に開館記念式を開催し、2000年のシドニーオリンピック女子100メートル背泳ぎで銀メダルを獲得した中村真衣さんにお越し頂き、泳ぎ初めと水泳教室を行っていただきました。

健康増進のため、ぜひご利用ください。

続いて今後の主な話題について触れたいと思います。

はじめに、新たな鹿島小学校の開校についてです。

先ほど申し上げたとおり、3月で閉校した八沢小学校が4月から鹿島小学校に統合されます。

4月8日に、鹿島小学校で開校式を開催し、鹿島小学校と旧八沢小学校の生徒代表による挨拶と、新しい運動着の授与を行う予定です。

次に、みらい農業学校についてです。

いよいよ4月11日に、小高区の旧鳩原幼稚園を改修した農業交流施設で、みらい農業学校が開校します。

第1期となる今年度は15人が入校し、令和7年3月までの1年間、農業技術や栽培技術などの「座学講義」と、ほ場実習や農業法人研修などの「栽培実習・実践」のカリキュラムを通して、雇用就農に必要な技術や学びを習得します。

この学校が市内の農業者や未来の農業の担い手が集う場となり、南相馬の新しい農業のシンボルとなることを期待します。

次に、春のイベントについてです。

昨日1日から、国見山森林公園の多目的広場、展望台、登山道等及び林道が利用可能となりました。

国見山については、令和元年東日本台風により被害を受けた林道の復旧と、東日本大震災および福島第一原子力発電所事故の影響により長期間、立ち入りが制限されていたことで老朽化した森林公園のリニューアルを並行して進めておりましたが、今般整備が完了したものとなります。

なお、リニューアルイベントは5月に予定しています。

また、4月28日には、5月の相馬野馬追に先駆け、相馬野馬追振興春季競馬大会が開催される予定です。

本格的な春を迎え、外出に良い季節となりました。ご家族やご友人とお越しいただき、春の日差しのもとで楽しいひとときを過ごしていただければと思います。

### 【質疑応答】

#### 質問1:

3月27日から窓口を導入された「書かない」「待たない」「回らない」窓口の反応を教えてください。

#### 回答1：市民生活部長

窓口を導入したばかりですので、今後効果を検証してまいります。さまざまな窓口を回らずに済む点で、市民の負担が軽減されていると感じております。

#### 回答1：市長

家族で本市に転入し、住民異動や住民票の交付申請などを出す場合、子育てに関連する手続きなども含めると、これまで窓口を2、3カ所回っていたのが1カ所に減り、記名いただく回数も20回以上から1回へ減るようです。引き続き導入後の効果を調査します。

#### 質問2:

みらい農業学校の開校スケジュールを教えてください。

#### 回答2：農林水産部農政課長

4月11日の10時30分から開校を予定しています。市長の挨拶、テープカット、入学生の紹介などを行います。詳細は明日プレスリリースでお知らせいたしますので、ぜひ取材を宜しくお願いいたします。

開校後は週5日、午前に座学を行い、午後は現場実習を行います。夏になりましたら市内の農業法人でのインターンシップや現場研修を行うカリキュラムを考えています。みらい農業学校を卒業後は、市内の農業法人に就職していただくマッチングを積極的に進めていきます。

#### 質問3:

組織改編のタイミングで、宇宙関連産業推進室を新設された意義と狙いについて教えてください。宇宙港の整備も視野に入れていきますか。

#### 回答3：市長

南相馬市は「復興の第3ステージ」に入ろうとしています。

第1ステージでは津波で壊れた施設を復旧したり、放射能で汚染された箇所の除染作業を行ったりしてきました。第2ステージは生活していく上で必要なもの、例えば帰還促進のための企業誘致や、病院や保育所の再開などを進めるなど、復興に向けた取り組みを行ってまいりました。

今後は第3ステージとして、新しい取り組みに着手するステージの入り口に立っていると捉えています。宇宙関連産業はその取り組みの一つで、大きな可能性を秘めていると考えています。

現在、宇宙関連企業と市との連携協定の締結が進んでおり、また工場が市内に設

置されるなどの流れがある中で、ここ南相馬は太平洋に面しているという地理的に恵まれた環境にあります。国でも、国を挙げて宇宙関連産業に力を入れていますので、このタイミングで担当課長を配置するとともに今年度から、宇宙に関する法規制等を取り扱う内閣府へ職員を派遣しました。

国の第二期復興創生期間は残り2年を切りました。こうしたタイミングで、ドキドキ感やワクワク感のような、未来に向けた取り組みを進めていくために、宇宙関連産業推進室の配置を行いました。今後、関連企業との連携や情報収集、人材確保などに取り組んでいきたいと考えています。

宇宙港の整備も将来的な目標の1つですが、現段階では企業との連携や人材確保に注力していくことが先決だと考えています。将来的な可能性としては宇宙港の整備も視野に入れつつ、まずは企業誘致や関連産業の集積を図っていきたいと思っています。

宇宙港の整備も、目標の一つとして可能性があると考えています。ロケットの打ち上げをしたいと考えている事業所もあるようですので、将来の姿の一つとして視野に入れておきたいと考えています。

### 回答3：常木副市長

宇宙関連産業に取り組む理由をご説明します。

まず1点目は、本市は宇宙関連に取り組む企業5社と連携協定を締結しています。この5社のうち、文部科学省の中小企業イノベーション創出推進事業（SBIRフェーズ3）の宇宙分野に採択された企業が、全国で4社ありますが、そのうち2社が本市と関わりがあります。

2点目は宇宙に関する市場規模が今後拡大していくと予想されます。

3点目はこれまで南相馬市が取り組んできたこととのつながりや親和性が高いことです。これまでドローンや空飛ぶクルマなどに取り組んできており、地元企業とのマッチングも行ってきました。さらにイノベーションコースト構想の重点分野にも「航空宇宙」が挙げられています。

4点目として、東側に海があり、関東からアクセスしやすいことから、地理的条件に恵まれていると考えています。

### 質問4：

国見山の利用について伺います。震災前は森林学習や遠足などで、国見山がよく利用されていたと聞きます。今後、子供たちを含めて市民の皆さんにどのように利用してほしいと考えていますか。

### 回答4：市長

国見山を再開するまで2つのハードルがありました。1点目は放射能への不安で、2点目は令和元年東日本台風によって林道が通行止めになってしまい、国見山へ立ち入ることができませんでした。

近年、放射能の測定等を行い、市の環境回復推進委員会に、子どもたちが登山しても安全なのか客観的に調査いただきました。また、長期間立ち入ることができず、展望台などの関連施設で老朽化が進んでいましたので、修繕工事も進めていました。安全性が確認されたこと、また林道の補修なども終わって通れるようになりましたので、一般の皆様にも利用いただけるようになりました。

5月のリニューアルオープンを受けたイベントには、地元の小学生を招く予定です。子どもたちへのPRも考えていきたいと思います。

**質問 5:**

国見山が約13年ぶりに利用できることになったことへの受け止めに聞かせてください。

**回答 5: 市長**

この度市の環境回復推進委員会や国の協力をいただきながらリニューアルオープンできることとなり、とても嬉しく思います。国見山は多くの市民の拠り所の一つでした。健康のために利用している方もいましたので、そうした日常が戻ってくることとなり「国見山を愛する会」など関係者の皆さんに感謝を申し上げます。ぜひ市民の皆さんにご利用いただきたいと思っています。

**質問 6:**

新規採用職員の毎年の採用人数や、本市の出身者と市外出身者の割合などを教えてください。また、震災経験のない若手職員への継承の取り組みについてもお聞かせください。

**回答 6: 市長**

今年度の新規採用職員は41名です。うち約半数が本市の出身者、半数が市外出身者となっています。

震災経験のない若手職員も増えてきていますので、研修の中で、写真などを使って当時の状況を伝えたり、旧避難指示区域の視察を取り入れたりするなどして、震災の経験や教訓を継承していく取り組みを行っています。今後も、若手職員に対し震災の経緯をしっかりと伝えていくことが重要だと考えています。

**質問 7:**

旧八沢小学校の跡地利用について、決まっていることがあれば教えてください。

**回答 7: 市長**

旧八沢小学校の跡地利用については具体的な計画はまだありません。子ども達からも提言をいただいていますので、そうした提言などを踏まえて地域の皆様とも相談しながら、有効活用の方策を検討していきたいと考えています。

**質問 8:**

旧八沢小学校の跡地利用について、小高区の旧福浦小や旧鳩原小の校舎なども含めて、市としてどのように活用を検討されていますか。

**回答 8: 市長**

原発事故の影響で廃校になった学校施設の活用についても検討を進めています。現在は市が施設を使用するかを検討していますが、市が使わない場合は民間への譲渡も視野に入れています。その際に必要な支援制度や用途制限といった、さまざまな条件なども併せて検討しているところです。近々、皆様にもお示しできる見込みです。

以上